

○東京都教育委員会目標

○本校の教育目標と目指す学校
『自主』『健康』『民主』

○本校のグランドデザイン

Anniversary 70th
since 1948

八丈高校魅力化プロジェクト
～ ONLY ONE すべては生徒のために ～
「教育内容の充実と進路実績の向上」

「地域と協働した探究学習」「Hawaii 研修」「企業連携・都立大・産技大等との連携」
「じっくり ゆっくり 分かるまで あなたの学びを応援します！」

海外学校間交流推進校 Hawaii Waiakea 高校姉妹校 TOKYO教育DX推進校
エンジョイスポーツプロジェクト実施校

○八丈町と緊密な連携	・普通科1学級維持	・就業就労（住むところ働くところの確保）
・島内生の郷土愛の更なる育成	・島外生の八丈島への理解伸長	・八丈島の人口問題解決へ貢献（生徒増、Uターン・Iターン、活性化）

観点	中期的目標と方策	今年度の教育活動の目標と方策	重点目標と方策
学 習 指 導	【目標】 グランドデザインに基づいた新教育課程の編成と、魅力ある教育活動、進路希望の高いレベルでの実現を目指した授業の充実化 【方策】 ○教員の資質・能力の更なる向上のため、個人の研鑽をはじめ、オンラインでの指導教諭の模範授業、教員研修など、意図的、計画的、組織的な研修を推進する。 ○高大連携や地域と協働した探究的な学びを推進し、地域課題解決に挑戦する創造的な人材を継続して育成する。 ○島内の小・中学校との教科間及び学校間連携のため、町教委主催の教育研究会の各部会に参加するなどして、情報の共有化及び指導と評価の内容や方法の改善を図る。 ○I T 化推進や、I C T 機器の活用を推進する。 ○全教育活動を通じて、オリンピック・パラリンピック教育を推進し、国際交流など八高のレガシーを構築する。 ○Hawaii の高校や大学と連携、姉妹校協定を推進し、教育内容の充実化、魅力化を推進する。	【目標】 質の高い授業づくりと教科マネジメント力の充実 【方策】 ○主体的で対話的な深い学びの実現に向け、生徒自らが考え、他の考えにも触れ、自己の中でまとめ表現する授業を展開し、質の高い思考力、判断力、表現力を育成する。 ○新学習指導要領のもと、学力の3要素に基づいた指導とルーブリック等の評価を研究・開発し、学習の手引きとして学びの羅針盤を生徒に配布、保護者の活用を推進する。 ○グランドデザイン、全教科・科目のルーブリック評価の開発、新教育課程編成により指導と評価の充実化を図る。 ○少人数を生かした対話的で深い学びの授業と、図書館やICT機器を最大限に活用した主体的で深い学びの授業や、オンライン学習の取組を意図的・計画的に実施する。 ○学校設定科目「ベーシック」では、「読む・書く・計算する」などの作業を段階的に挑戦することを通してチャレンジ精神を醸成し、基礎学力の定着を図る。 ○生徒がオリンピック・パラリンピックの理念や価値を理解しスポーツへの関心を高め夢に向かって努力したり困難を克服したりする意欲を培うことが出来る取組を継続する。 ○ 学校行事の全・定・青島分教室の生徒の共同開催に向けて、体育祭において一部参加をする。	【目標】 指導の工夫と主体的な学びによる質の高い授業づくり 【方策と数値目標】 授業満足度（肯定的評価）100%（前年度98%）自己の授業を録画年2回以上実施 ○教科主任会議を月1回程度実施して次の目的を果たす。 ・カリキュラムマネジメントを行い、教科、分掌、学年等が情報を共有化し組織的な授業改善の取組を推進する。 ・デジタル技術を活用した意図的、計画的な教員研修、年2回以上自己の授業を録画し授業研究する。 ・校内及び小・中学校の授業参観、授業研究を全教員が行い、異校種相互の系統的な授業力の向上を図る。 ・振り返り週間における指導と評価の一体化等の充実を図る。 ○教務部が進行管理し、授業評価結果を教科で分析し授業改善するとともに、生徒・保護者へフィードバックする。 ○ICT 機器を活用した授業づくりを推進する。 ○ 体育祭、文化祭（八高祭）や、移動教室、修学旅行等の前後に事前事後学習を実施し、 終了後に、生徒全員が学習成果発表の機会を経験できる場を設け、探究学習の推進や、プレゼンテーション能力を育成する。 ○関係機関と連携して、租税教育、金融教育、消費者教育等を実施し、主権者としての意識を醸成させる。
生 活 指 導 ・ 健 康 づ くり	【目標】 生徒の健全育成と心身の健康体力の向上 【方策】 ○生徒情報の共有にとどまらず、家庭等と連携した指導計画を作成し、個別支援体制の強化を図る。 ○ 都立高等学校通級による指導を導入し、発達障害のある生徒への支援について充実をはかる。 ○関係機関等との役割分担や協力体制について協議し、サポートチームを強化して、一人暮らしをする生徒等への支援体制充実を図る。 ○学校行事を通して、望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活や社会生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。 ○学校保健計画に基づき、生徒の健康の保持増進を図り、健康教育を適宜推進する。また、健康診断の結果や体力テストの結果を活用して、生徒の健康維持や体力向上を図り、規則正しい生活習慣を身に付けさせる。 ○海外学校間交流推進校として、国際交流を推進する。 ○ エンジョイスポーツプロジェクト事業に応募する。	【目標】 生徒の健全育成と心身の健康及び体力の向上 【方策】 ○特別支援教育コーディネーターを中心に個別支援委員会を構築し生徒の相談活動の充実を図るとともに、教員のカウンセリング技術向上を図る研修会を計画的に開催する。 ○ 東京都通級等判定委員会に該当生徒の申請を行い、申請通過後において、外部団体事業所と連携する。 ○教科「人間と社会」では、探究学習・キャリア教育の視点から、生徒の進路学習や自己肯定感等をはぐくむ企画や工夫を「産学官民」連携して行う。また、地域への貢献活動を行い、地域を愛する心を醸成する。 ○第1年次において、構成的なグループエンカウンターのプロプログラムを実施するなど、中途退学の未然防止を図る。 ○食育リーダーと給食運営委員会・学校保健安全委員会が、生徒対象の講演会等を実施し、バランスのとれた食事の重要性を説き、食の重要性和健康、体力の向上の理解を深めさせる。 ○国際的なコミュニケーション能力育成を図るため、TOKYO GLOBAL GATEWAY (TGG) 等を利用した移動教室を実施する。 ○ エンジョイスポーツプロジェクト実施を全校において実施する。	【目標】 生徒の健全育成と心身の健康及び体力の向上 【方策と数値目標】 中途退学者ゼロ（前年度1名） ○個別支援教育委員会を週1回開催し、支援を必要とする生徒を把握するとともに、スクールカウンセラーと連携して、支援の在り方や手立て等を工夫し、全教職員が共有し、実践する。 ○警察署・消防署と連携しセーフティ教室を年間3回以上実施して、規範意識、生命尊重、人権の精神を涵養する。 ○防災教育として、八丈町消防本部との連携による講話及び避難所運営にかかわる演習を開催し、社会貢献意識と実践力を育成する。また、 1年生をはじめ他学年の生徒を対象にして、一泊二日の宿泊防災訓練を実施し、防災意識の向上を図る。 ○給食メニューを工夫し旬の食材や八丈島の特産物についての理解を深めさせるとともに、日本の伝統や文化の理解を深めさせる。ホームページに食育の取組を掲載する。 ○全日制課程園芸科の生産品を通じ、農産物への理解を深めさせるとともに、実学として学ばせる。 ○ 運動機会を設定し生徒の多様なニーズにこたえと共に健康に対する意識を高め、心身の健康を保持増進する。生活習慣（食事、睡眠等）の改善や心の健康について講演や実技指導を行っていく。
進 路 指 導	【目標】 系統的なキャリア教育の推進 【方策】 ○入学から卒業までのキャリア教育の全体計画に基づき、生徒が希望する進路の高いレベルでの実現に向けて、「最後まであきらめない」進路指導・進路学習を実践する。 ○生徒の進路希望を高いレベルで実現するため、生徒一人一人の社会的・職業的自立に向けた基盤となる非認知能力や態度を育成する。	【目標】 系統的なキャリア教育の推進 【方策】 ○進学希望生徒や学びの遅れている生徒への個別対応を図るため、始業前、放課後の補習・補講、講座や、オンライン学習の取組を組織的に推進する。 ○島内就職の拡大に向け、商工会と連携した調査を実施するとともに、島内官公庁等連絡会などで、求人募集促進を積極的に要請する。	【目標】 系統的なキャリア教育の推進 【方策と数値目標】 キャリア講演会年2回以上、進路決定率100% ○面接指導を充実させ、生徒が巧みに自己表現出来るよう、プレゼンテーション能力を育成する。そのために発表や意見表明などの機会を多く設定する。 ○就労系YSWの活用と、早い時期からの意図的、計画的な進路学習を推進して生徒の進路実現を図る。 ○オンラインチューターの活用・充実化を推進する。
特 別 活 動 等	【目標】 特別活動等の充実化とリーダーの養成 【方策】 ○各部活動の年間活動計画を策定し、安全で発達段階に応じた指導体制のもと、活性化を図る。 ○生徒会が中心となって、学校行事の一層の充実を図り、愛校心や帰属意識を高めさせるとともに、「コミュニケーション力」と「段取り力」を身に付けさせる。	【目標】 特別活動等の充実化とリーダーの養成 【方策】 ○生徒が主体的に活動出来る学校行事（特活の日）を展開し、生徒全員の参加を目指す。 ○特活の日や文化祭などの特別活動を工夫・改善するとともに、全学年対象で実施する教育活動を通して、「他者を認める」態度と「段取り力」を育成し、探究学習を推進する。	【目標】 特別活動の充実化とリーダーの養成 【方策と数値目標】 部活動全員加入 ○部活動への全員加入を目指すとともに、活動回数の確保等、計画的な活動を実践し、「向上心」、「たくましく生きぬく力」、「段取り力」を身に付けさせる。 ○各行事を通じて生徒会役員及び実行委員生徒を育成し「リーダーシップ」、「組織貢献力」の向上を図る。
家 庭 ・ 地 域 との 連 携 協 力 ・ 交 流 活 動、 学 校 広 報 活 動	【目標】 IT や経営資源を活用した地域や保護者との連携強化 【方策】 ○ X（旧 Twitter） とホームページの更新により、タイムリーな情報提供に努め、広報活動の充実を図る。 ○意図的、計画的な八高島留学生フォーラム等を実施して島外での広報活動を強化する。 ○学校運営連絡協議会及び学校サポートチームを活性化させ、支援を定着させるとともに、募集・広報活動等、地域の学校理解の強化を図る。	【目標】 IT や経営資源を活用した地域や保護者との連携強化 【方策】 ○タイムリーな情報は、本校の X（旧 Twitter） を日常的に活用し、授業や学校行事などの教育活動の写真や動画を積極的に多するなど、内容の充実を図るとともに、工夫した広報活動を展開して、島内外の受検希望者等に努める。 ○授業公開等、保護者及び地域住民等の参加者数を増やすため、開催の周知の方法や広報活動の工夫・改善を行う。	【目標】 IT や経営資源を活用した地域や保護者との連携強化 【方策と数値目標】 HP 更新月4回以上、島外保護者会年3回 ○ホームページの更新を月4回以上行う。HPの更新システムを全教員が行えるように分担する。そして、日常的な校内研修等を実施して全教員の習熟を図る。 ○島留学生フォーラム・島外保護者会を年3回開催し、家庭との協力体制強化を図るとともに、広報活動につなげる。 ○部活動と兼ねて、天文施設を活用した学校開放として「天体観測教室」を実施し、広報活動につなげる。
学 校 経 営 ・ 組 織 体 制	【目標】 学校経営の適正化 【方策】 ○企画調整会議・教科会を中心とした学校経営を行い、主幹教諭及び主任教諭を中心として、組織的に職務を遂行し適正な学校運営を行う ○ライフ・ワーク・バランスに配慮した勤務環境のもとで業務の効率化を図る。	【目標】 学校経営の適正化と組織の活性化 【方策】 ○学校として一体的な体制整備のため、スクールカウンセラーやデジタル支援員等の専門スタッフの支援を得るとともに、地域との協働を通じた教育支援活動の充実を図る。 ○教員の専門性が求められる業務を精選し、教員以外の者が担うことが出来るものについて役割分担の見直しやIT化の推進等に取り組み、教員業務の見直しと業務改善を推進する。	【目標】 ライフ・ワーク・バランスの推進による組織の活性化 【方策と数値目標】 前・後超勤時間月45時間以上の教員ゼロ、いじめや生徒事故・体罰等の服務事故ゼロ ○在校時間の適切な把握と意識改革を推進し、過当たりの超勤時間が45時間を超える教員をゼロにする。 ○交通事故防止や個人情報等の適正な管理に向け、管理体制の総点検を行い、意識定着のため、職員打合せ等を活用した短時

* 本校の学校経営や、生徒に役立つ方策等については、年度途中でも推進する。

	○経営企画室による学校経営参画を進め、教育系職員と行政系職員とが連携して学校運営に当たる。 ○管理職及びミドルリーダー層のマネジメント能力を向上させ、組織的な学校経営の強化を図る。	○資質・能力の向上や、学校課題の解決に向けた校内研修とOJTを充実させ、人材育成を図る。	間の校内研修や年3回の服務事故防止月間を活用して、教育公務員としての規範意識を醸成する。 ○都立青島特別支援学校や分教室及び全日制との連携を推進する。
--	---	--	--



* 本校の学校経営や、生徒に役立つ方策等については、年度途中でも推進する。